

今岡十一郎 いまおか じゅういちろう ハンガリー詩學・文學者。明治二十一年四月十一日島根縣松江生れ、昭和四十八年九月一日歿（八八―九三）。大正三年東京外國語學校獨詩科卒。十一年ハンガリーに渡り、十五年ブタペスト大學卒。ハンガリー・ツラン協會に關はり、日本事情の紹介等に従事して昭和六年まで滞在。歸國後外務省囑託となり、新來ハンガリー、ブルガリヤ等事情通の第一人者として關係著譯書多數を残した。日洪文化協會代表。

著書に『ハンガリー民族詩』（昭和十六年二月）『十七日愛國新聞社出版部』、『ハンガリー物語歴史』（日洪文化協會編、昭和十八年四月）

『二十五日東洋堂』『日洪文化新書』（『洪牙利詩小辭典（日洪）』（昭和十八年七月）『二十五日大學書林』、『ハンガリー文學史』（日洪文化協會編、昭和十九年二月）『日洪文化新書』（『歐洲文

明に於ける洪牙利の位置』（昭和十九年二月）『日洪文化協會』『日洪文化新書』（『ハンガリー革命―共産主義下の生活』（昭和二十二年十月）『二十日洪文化協会』、『ゴブ

ルガリヤ』（昭和二十七年九月十五

日新紀元社）、『ハンガリー文化史

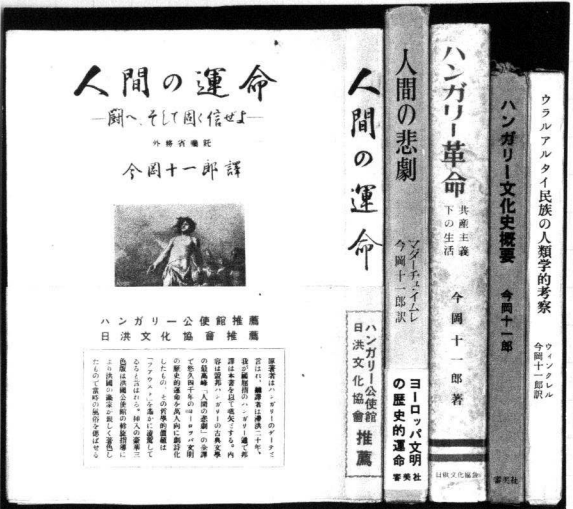
概要』（昭和四十四年八月二十日審

美社）等、譯書に、『マダーチ・イム

レ作』『人間の運命―闘へ、そして固



く信ぜよ』（昭和十八年五月）『十八日六盟館』のち改題、『マダーチ・イムレ作



ロ人間の悲劇□昭和四十年十一月（二十台審美社）、ハインリッヒ・ウ  
ィンク兀著ロウラルアルタイ民族の人類学的考察□（昭和四十五年十  
二月）二十五台審美社）等。